

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 17 日(2022.3.17)

【公開番号】特開 2021-4912(P2021-4912A)

【公開日】令和 3 年 1 月 14 日(2021.1.14)

【年通号数】公開・登録公報 2021-002

【出願番号】特願 2019-117091(P2019-117091)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14(2006.01)

10

G 0 3 B 21/00(2006.01)

F 2 1 S 2/00(2016.01)

F 2 1 V 5/04(2006.01)

F 2 1 V 9/14(2006.01)

F 2 1 V 7/30(2018.01)

H 0 4 N 9/31(2006.01)

G 0 2 F 1/13357(2006.01)

G 0 2 F 1/13(2006.01)

G 0 2 B 3/00(2006.01)

F 2 1 Y 115/30(2016.01)

20

【F I】

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/00 E

F 2 1 S 2/00 3 1 1

F 2 1 V 5/04

F 2 1 V 9/14

F 2 1 V 7/30

H 0 4 N 9/31 5 0 0

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 2 B 3/00 A

F 2 1 Y 115:30

30

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 9 日(2022.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 光源および第 2 光源と、

前記第 1 光源および前記第 2 光源から出射された各光が入射する第 1 レンズと、

前記第 1 レンズの後段に配置された第 2 レンズと、

前記第 1 レンズと前記第 2 レンズとの間に配置された 1 / 2 波長板と、

を備え、

前記第 1 レンズ、前記第 2 レンズ、および前記 1 / 2 波長板は、第 1 軸に沿って配置され、

前記第 1 光源および前記第 2 光源は、前記第 1 軸と直交する面に沿って配置され、

50

前記 1 / 2 波長板は、前記第 1 軸上において前記第 2 レンズに近い位置に配置されることを特徴とする照明装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の照明装置であって、

前記第 1 光源および前記第 2 光源は、第 1 の偏光成分を含む第 1 光を射出する固体光源であることを特徴とする照明装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の照明装置であって、

偏光調整機構を備え、

前記 1 / 2 波長板は、前記第 1 光を、前記第 1 の偏光成分と前記第 1 の偏光成分に直交する第 2 の偏光成分とを含む第 2 光に変換し、

10

前記偏光調整機構は、前記第 1 光の中心軸と交差する面内において前記 1 / 2 波長板を回転させることを特徴とする照明装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の照明装置であって、

前記第 1 軸に沿って配置され、前記第 2 レンズから出射された前記第 2 光を、前記第 1 の偏光成分を含む第 3 光と、前記第 2 の偏光成分を含む第 4 光とに分離する偏光分離素子と、

前記偏光分離素子から出射された前記第 3 光が入射する波長変換素子と、

前記偏光分離素子から出射された前記第 4 光が入射する拡散素子と、

20

を備えることを特徴とする照明装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の照明装置であって、

前記波長変換素子は、前記第 3 光によって励起され、前記偏光分離素子に向けて蛍光光を射出し、

前記偏光分離素子は、前記蛍光光を透過することを特徴とする照明装置。

【請求項 6】

請求項 4 または 5 に記載の照明装置であって、

前記偏光分離素子と前記拡散素子との間の光路中に配置された 1 / 4 波長板を備えることを特徴とする照明装置。

30

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の照明装置と、

前記照明装置から射出された光を変調する光変調装置と、

前記光変調装置によって変調された光を投射する投射光学装置と、

を備えることを特徴とする投射型表示装置。

40

50